

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 3 区分

【発行日】平成 19 年 10 月 25 日 (2007.10.25)

【公開番号】特開 2005-166072(P2005-166072A)

【公開日】平成 17 年 6 月 23 日 (2005.6.23)

【年通号数】公開・登録公報 2005-024

【出願番号】特願 2005-31062(P2005-31062)

【国際特許分類】

G 0 7 C 5/00 (2006.01)

B 6 0 R 21/00 (2006.01)

B 6 2 D 41/00 (2006.01)

【F I】

G 0 7 C 5/00 Z

B 6 0 R 21/00 6 3 0 F

B 6 2 D 41/00

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 9 月 7 日 (2007.9.7)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

車両の動作状態を記録する運転記録装置において、

車両の動作状態を検出する動作状態検出手段と、

前記動作状態検出手段により検出された車両動作状態データを記録媒体に記録する記録手段とを備え、

前記記録手段は、前記車両動作状態データを一定時間間隔の記録ステップ時間毎に記録媒体に記録し、該記録ステップ時間に変更されると、変更された記録ステップ時間毎に車両動作状態データを記録媒体に記録することを特徴とする運転記録装置。

【請求項 2】

車両の動作状態を記録する運転記録装置において、

車両の動作状態を検出する動作状態検出手段と、

前記動作状態検出手段により検出された車両動作状態データを記録媒体に記録する際、すでに記録された車両動作状態データに上書きして記録する記録手段と、

車両の衝突を検知すると、前記記録手段による前記記録媒体への車両動作状態データの記録を停止する記録停止手段とを備え、

前記記録手段は、前記車両動作状態データを一定時間間隔の記録ステップ時間毎に記録媒体に記録し、該記録ステップ時間に変更されると、変更された記録ステップ時間毎に車両動作状態データを記録媒体に記録することを特徴とする運転記録装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 4】

本発明はこの様な問題を解決するために、車両の動作状態を記録する運転記録装置にお

いて、車両の動作状態を検出する動作状態検出手段と、前記動作状態検出手段により検出された車両動作状態データを記録媒体に記録する記録手段とを備え、前記記録手段は、前記車両動作状態データを一定時間間隔の記録ステップ時間毎に記録媒体に記録し、該記録ステップ時間に変更されると、変更された記録ステップ時間毎に車両動作状態データを記録媒体に記録することを特徴とする。

【手続補正３】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００５

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００５】

又、車両の動作状態を記録する運転記録装置において、車両の動作状態を検出する動作状態検出手段と、前記動作状態検出手段により検出された車両動作状態データを記録媒体に記録する際、すでに記録された車両動作状態データに上書きして記録する記録手段と、車両の衝突を検知すると、前記記録手段による前記記録媒体への車両動作状態データの記録を停止する記録停止手段とを備え、前記記録手段は、前記車両動作状態データを一定時間間隔の記録ステップ時間毎に記録媒体に記録し、該記録ステップ時間に変更されると、変更された記録ステップ時間毎に車両動作状態データを記録媒体に記録することを特徴とする。